

北海道横断自動車道（黒松内～余市） 計画段階評価の試行

『第2回地域意見聴取（アンケート）（案）』

平成23年8月11日

国土交通省 北海道開発局

■意見募集方法

- ・本資料をご覧頂き、添付のアンケート票（表・裏両面）に回答をご記入の上、切り取って、●月●日（●）までにご投函ください。
- ・アンケートの集計結果は、「計画段階評価※」の検討資料として使用させていただきます。
- ・公開する情報は集計結果のみで、ご回答いただいた個人が特定できるようなことはありません。また本検討以外には一切使用いたしません。
- ・趣旨をご理解頂き、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

■お問い合わせ先

- ・不明な点がありましたら、担当者までご連絡願います。

<担当者>

- ・北海道開発局

小樽開発建設部 道路計画課（担当：〇〇、〇〇）

TEL：0134-23-7463 受付時間／平日の9:00～16:00

※計画段階評価とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、代替案の比較評価を行う計画段階において事業評価を行うものです。

表面と裏面にお答えをご記入の上、
切り取り線でこのハガキを切り離して、
●月●日までにご投函して下さい。

アンケート回答欄【おもて】

郵便はがき

料金受取人払

0 4 7 8 5 5 5

●●郵便局
承認
000

差出有効期間
平成●年●月
●日まで
(切手不要)

小樽市 潮見台1丁目 15番5号
小樽開発建設部 道路計画課
北海道横断自動車道 黒松内～余市間
道路計画に関する意見募集係 行

<担当：●●、●●>

当てはまる選択肢(○)を一つつけて回答してください

●性別 ●年齢

1.男 1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代
2.女 5.50代 6.60代 7.70歳以上

●あなたのお住まいの市町村をご記入ください
()

●ご職業を選択願います
1.会社員 2.公務員 3.農業 4.漁業 5.林業 6.観光業
7.学生 8.主婦 9.物流・輸送 10.商業 11.工業
12.無職 13.その他()

●自動車を運転するか
1.毎日2週数回 3.月数回 4.ほとんど運転しない 5.運転しない

●自動車を運転するか
1.自家用車 2.タクシー 3.バス(乗合) 4.バス(路線)
5.鉄道 6.その他()

●道路利用の主な目的
1.通勤 2.通学 3.買い物 4.通院 5.レジャー・観光
6.業務(仕事) 7.その他()

●高規格幹線道路の利用頻度
1.毎日 2.週数回 3.月数回 4.ほとんど利用しない 5.利用しない

北海道横断自動車道 黒松内～余市間 道路計画に関する意見募集

北海道横断自動車道は、黒松内町から倶知安町・余市町を經由して、札幌市・夕張市へ至り、帯広市を經由して根室市、網走市へ至る延長約690kmの高規格幹線道路です。

主要な観光拠点、港湾や空港等を高規格幹線道路で結ぶことにより、後志管内やその周辺地域の産業等の発展、また救急医療サービスの向上など、地域の生活を支援する重要な路線として位置付けられています。

本調査は、「①政策目標」や「②当面の整備方針」、「③通過位置」「④連結位置の考え方」及び「⑤比較ルート」について、地域のご意見をお聞きするものです。

■対象路線の位置図

計画段階評価試行箇所
北海道横断自動車道
(黒松内～余市)
L=74km



国管理空港	高速自動車国道
特定地方管理空港	供用区間
地方管理空港	整備計画区間
特定重要港湾	うち整備方式区間
重要港湾	基本計画区間
	予定路線区間
一般国道自動車専用道路	供用区間
	整備計画区間
高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路	供用区間
	整備計画区間

アンケートの目的

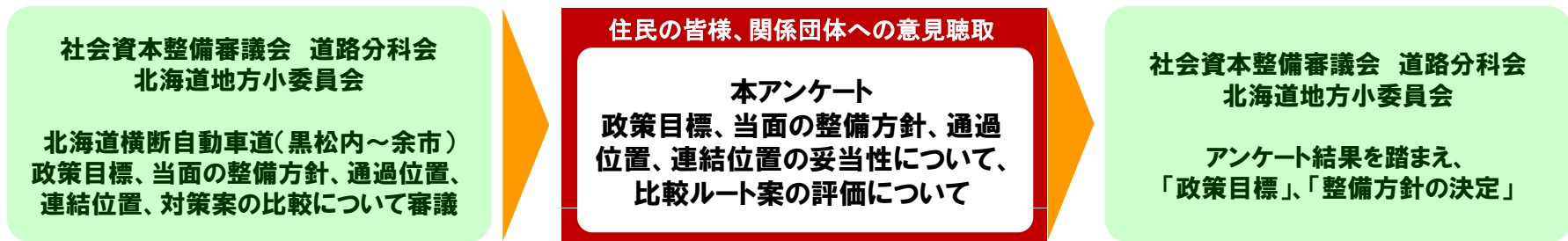
アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、「計画段階評価」の取組を導入しました。これは道路整備等の整備方針を、地域の声を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

2010年12月から行われている「社会資本整備審議会 道路分科会 北海道地方小委員会」では、北海道横断自動車道（黒松内～余市）を対象として、この「計画段階評価」の審議が行われています。今回の意見募集は、「社会資本整備審議会道路分科会北海道地方小委員会」で行われている「計画段階評価」の一環で行われています。

この審議にあたり、地域の皆様、道路利用者、関係団体の方のご意見を伺い、その結果を踏まえ、北海道横断自動車道（黒松内～余市）の整備方針が決定される予定です。

■委員会と 意見聴取の手順



黒松内～余市間の道路計画に関するアンケートにお答え下さい。

(回答は返信はがきに記入して下さい)

■①政策目標(案)(後志地域の現状と課題)に関する質問

問1. 後志地域の政策目標を設定しましたが、**重要だと思われるものを全て**お選び下さい。
(複数回答)

1. 暮らし①: 後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮
2. 暮らし②: 市街地、線形不良区間における走行性向上
3. 観光: 新千歳空港から主要観光地である二世コエリアへの速達性確保
4. 物流①: 国際コンテナの通行支障区間の解消
5. 物流②: 峠部・市街地部などの通行支障区間解消による速達性・安全性の向上
6. 防災: 北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルート確保
7. 拠点間交流: 道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保
8. その他ご意見があればご記入下さい

■②当面の整備方針(案)に関する質問

問2. 政策目標を効果的に達成していくため、「政策目標に対する現道の使われ方からの評価」、「現道課題からの評価」を行い、課題が大きい区間(倶知安～余市IC間)については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間(黒松内IC～倶知安間)については、当面現道を活用する方針を選定しましたが、**最もあてはまるものを一つ**お選びください。

1. 妥当
2. おおむね妥当
3. 妥当ではない (3を選択された方は、具体的な理由をご記入ください。)

■③通過位置の考え方(案)に関する質問

問3. 通過位置(案)における配慮事項のうち、**妥当と思われるものを全て**お選びください。

1. 構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮
2. 地域分断を避けるため、市街地及び農地を考慮
3. 国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮
4. その他のコントロールポイント(既存の公共施設等)を考慮
5. その他(5を選択された方は、具体的な内容をご記入ください)

■④連結位置の考え方(案)に関する質問

問4. 連結位置の基本的な考え方(案)における配慮事項のうち、**妥当と思われるものを全て**お選びください。

1. 市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性
2. 各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な幹線道路との接続
3. その他(3を選択された方は、具体的な内容をご記入ください)

■⑤比較ルート(案)に関する質問

問5. 当面の整備方針(案)をもとに、別線整備が必要な区間として『倶知安～余市IC』を設定し比較ルートを設定しましたが、**2つの案についてどう思われますか。最もあてはまるものを一つ**お選び下さい。

- 【案①】共和町・岩内町方面(国道276号)からのアクセス性を重視したルート
【案②】道央と道南方面を連絡する際など路線延長短縮による時間短縮を重視したルート

1. 案①が良い
2. 案②が良い
3. どちらでも良い
4. その他(4を選択された方は、具体的な内容をご記入ください)

■その他のご意見について

問6. その他ご意見、ご要望などがございましたらお聞かせ下さい。

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

アンケート回答欄【うら】→

問1	重要だと思われるもの全てお選びください。
	1 2 3 4 5 6 7 8 ()
問2	最もあてはまるものを一つお選び下さい。
	1 2 3 ()
問3	妥当だと思われるもの全てお選び下さい。
	1 2 3 4 5 ()
問4	妥当だと思われるもの全てお選び下さい。
	1 2 3 ()
問5	最もあてはまるものを一つお選び下さい。
	1 2 3 4 ()
問6	ご意見、ご要望などご記入下さい。

「地域の課題」

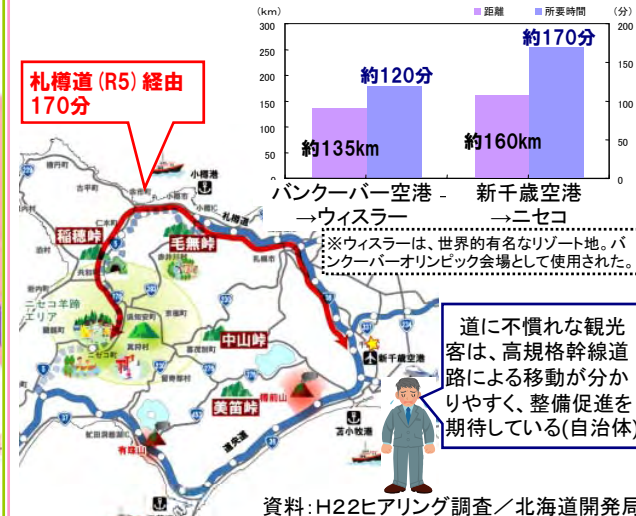
課題1・札幌方面の高次医療施設への速達性が課題

▼H20年度後志管内発救急搬送流動状況



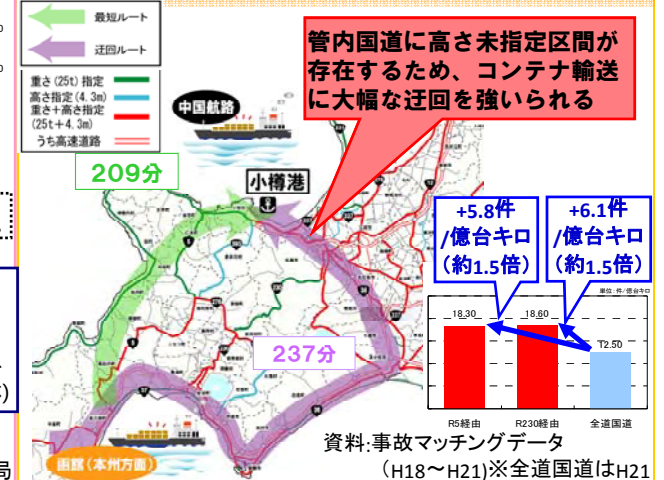
課題2・高規格幹線道路のない後志地域は観光客が立寄りづらい地域となっている

▼国外のスキーリゾートとのアクセス時間比較



課題3・道南から小樽港への国際コンテナ輸送について、最短経路が利用できない

- ・主要な物流経路では大型車関連事故が多発



課題4・大規模災害時に物流機能が麻痺

▼鉄道輸送の迂回状況

- ・JR室蘭本線不通によりJR函館本線に振り替えたが、輸送能力不足により、トラック代行輸送を行うも、コンテナは滞留



課題5・道央圏内の地域間の連携機能が脆弱



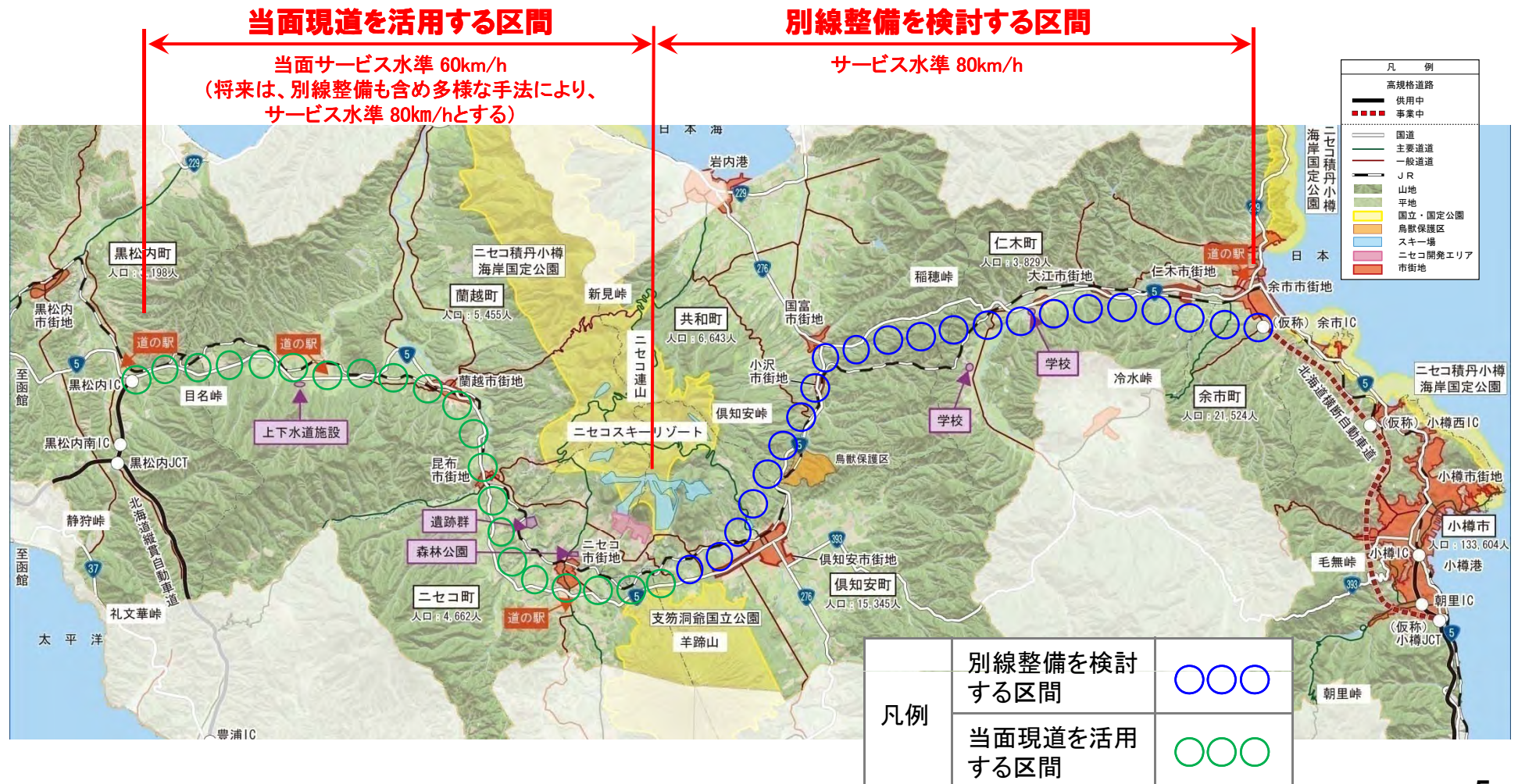
①課題解消に向けた政策目標(案)

地域課題として課題1～5を検討しました。また、課題解消のために達成すべき政策目標(案)を検討しています。この政策目標(案)についてご意見をお聞かせください

暮らし (地域医療)	○後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮 ○市街地、線形不良区間における走行性向上
観光	○新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上
物流	○国際コンテナの通行支障区間の解消 ○峠部・市街地部などの通行支障区間の解消による速達性・安全性の向上
防災	○北海道縦貫自動車道が持つ広域交通機能を、地震・火山等大規模災害時に代替するルートを確認
拠点間交流	○道央圏内の拠点都市間を繋ぐ環状機能の確保

②当面の整備方針（案）

- 当面の整備方針として、以下のとおり整備方針を設定したので、ご意見をお聞かせください。
- 政策目標を効果的に達成していくため、政策目標に対する現道の使われ方や現道課題からの評価を行い、課題が大きい区間（倶知安～余市IC間）については、別線で整備することを検討することとし、現道の走行性が比較的高い区間（黒松内IC～倶知安間）については、当面現道を活用することにしました。



②当面の整備方針（案）

▼当面の段階的な整備における政策目標(案)の達成度

- 当面の整備により、全線を80km/hのサービスレベルで整備した場合に対する政策目標(案)の達成度について評価しました。
- 当面の整備方針に基づき、倶知安～余市IC間をサービスレベル80km/hで整備した場合、暮らしにおいては、達成度が搬送時間の短縮で100%・市街地や峠の回避で73%、観光においては、時間短縮で98～99%、物流においては、国際コンテナ通行支障区間の解消で100%・時間短縮で79～81%という達成度が見込まれます。

凡 例

■ 倶知安～余市間を80km/hのサービスレベルで整備する場合
 ■ 全線80km/hのサービスレベルで整備する場合

	政策目標(案)	区間	達成度(%)
暮らし(地域医療)	○後志地域から高次医療施設がある札幌市、小樽市への搬送時間の短縮	倶知安厚生病院～小樽市立医療センター間の搬送時間	【倶知安町～小樽市立医療センター間】 時間短縮 市街地・峠の回避
	○市街地、線形不良区間における走行性向上	—	
観光	○新千歳空港から主要観光地であるニセコエリアへの速達性の向上	新千歳空港～ニセコ町役場間の移動時間	【新千歳～ニセコ間】 時間短縮(夏期) 時間短縮(冬期)
	○国際コンテナの通行支障区間の解消	—	
物流	○峠部・市街地部などの通行支障区間の解消による速達性・安全性の向上	小樽港～函館港間の移動時間	【小樽港～函館港間】 国際コンテナ通行支障区間 時間短縮(夏期) 時間短縮(冬期)

※ 全線整備、当面整備（倶知安～余市IC間）の数値は試算値であり、今後の計画に合わせて変更となる場合がある
 （指標全般）・整備箇所（※1を除く）は、速度（サービスレベル）を80km/hとして各所要時間を試算
 ・冬期の所要時間は、走行速度調査結果から算出した低減率を夏期速度に乗じて試算

③通過位置の基本的な考え方（案）

○「通過位置の基本的な考え方（案）」について、ご意見をお聞かせください

▼通過位置の基本的な考え方

- ①構造物(コスト)を抑制するため、JRや河川の横断を考慮
- ②地域分断を避けるため、市街地を考慮
- ③国立公園・国定公園・希少種の生息地や埋蔵文化財包蔵地等の自然環境に考慮
- ④その他のコントロールポイント(CP)を考慮
 - ・水田、果樹園等の農地
 - ・インフラ施設(上下水道など)
 - ・公共施設(学校など)
 - ・環境保全(森林公園)
 - ・リゾート施設及び施設と一体となって機能する宿泊施設群

自然環境面	自然公園	国立公園、国定公園等	支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園
	史跡・遺構	指定文化財	史跡・天然記念物等(町指定)
	森林	保安林	水源かん養、土砂流出防備、保健、土砂崩壊防備、干害、防風、防霧保安林
	条例等の保全対象	自然環境保全地域等	北海道自然環境等保全条例指定地区等
	その他	鳥獣保護区	鳥獣保護区
生活環境面	市街地	規制区域	騒音・振動規制区域、悪臭規制区域
		その他	学校、病院、福祉施設等

④連結位置の基本的な考え方（案）

○「連結位置選定の基本的な考え方（案）」について、ご意見をお聞かせください

▼連結位置の基本的な考え方

連結位置選定の基本的な考え方(案)

- ①市街地、リゾートエリア等の地域づくりの拠点施設からの利便性
- ②各方面に集散する交通を円滑に流動させることが可能な幹線道路との接続

⑤比較ルート（案）

○「当面の整備方針(案)」で設定した別線整備を検討する区間『倶知安～余市IC間』について、比較ルート(案)を設定したので、意見をお聞かせください。

